

○土地売買等届出書チェックシート

◆黄色の項目は要記載のものです。よくご確認いただき、漏れが無いように記載をお願いいたします。

■緑色の項目は要記載ではありませんが、記載する必要があることが多い項目ですので、よくご確認下さい。

◇要記載以外の項目も、記載する必要があるかをよくご確認下さい。

【1/2】

項目		注意事項	チェック
表題部 権利取得者 (譲受人)	申請先	・郡上市は岐阜県への経由窓口となりますので、申請先は「 岐阜県知事殿 」と記載して下さい。	
	提出日	・持参の場合は 持参日 を記載して下さい。 ・契約締結日からその日を含めて14日以内に郡上市へ提出する必要があります。 ※【提出先】郡上市役所企画課 もしくは、各振興事務所振興課	
	譲受人業種	・いずれか該当する項目に○を付けて下さい。	
	権利取得者 (譲受人)	・住所： 郵便番号 、丁目、番地及び号まで記載して下さい。 ・氏名：企業の場合は、 企業の正式名称と契約者の氏名 を記載して下さい。 ・印鑑： 契約書の印と同じ印鑑 で押印して下さい。 ・電話番号：担当者及び代理人がいない場合は、「(担当者)」を削除し、 連絡を取ることができる電話番号 を記載して下さい。 ・共有者が多く、記載しきれない場合は別紙とし、 割印を押印 して下さい。	
	担当者	・担当者及び代理人へ受理書等を送付するため、担当者及び代理人が権利取得者と別の住所、部署の場合は、 郵便番号、住所、部署 を記載して下さい。 ・氏名：フルネームで記載して下さい。 ・電話番号： 連絡を取ることができる電話番号 を記載して下さい。	
	前文	・「国土利用法第23条第1項の規定に基づき、土地に関する 所有権(地上権・賃借権・その他)の移転(設定) をする契約の締結について…」 ※該当する権利の種類に○を付けて下さい。 ※移転または設定に○を付けて下さい。	
契約の相手方に関する事項	契約の相手方の住所	・ 郵便番号、丁目、番地及び号まで記載 して下さい。	
	氏名	・契約者の氏名を記載して下さい。 ・企業の場合は、 企業名と契約者の両方 を記載して下さい。	
	契約締結年月日	・ 契約書の日付と同じ日付 を記載して下さい。	
土地に関する事項 ※記載しきれない場合は、別紙を添付して下さい。(要割印)	所在	・「番号」に対応して、 一筆ごと に記載して下さい。 ・必ず契約書に記載されている地番の漏れが無いか確認し、 字(あざ)及び地番まで記載 して下さい。	
	地目	・登記簿に記載されている区分(田、畑、山林、原野など)により記載して下さい。	
	面積	・一筆ごとに記載し、契約書と同じか確認して下さい。 ・なお、必ず 合計面積 も記載して下さい。	
	利用の現況	・田、住宅、山林など、現在の土地の利用状況を記載して下さい。	
	所有権	・届出に係る土地に関する権利が地上権又は賃借権である場合は記載して下さい。	
	所有権以外の権利	・届出に係る土地に関する権利以外の権利がある場合は記載して下さい。	

項目	注意事項	チェック	
土地に存する工作物等に関する事項	種類	・権利の移転等を行う 土地に存する工作物についても権利の移転等を行う場合は記載して下さい。 (住宅、倉庫、立木など)	
	概要	・種類に記載した工作物の概要を記載して下さい。 (例) 建築物：構造、床面積、築年数、建物の用途等 立木：樹種、樹齢、本数等	
	移転または設定に係る権利	・種別：「種類」の項目に記載がある場合、当該工作物の 移転等に係る権利の種別(所有権、賃借権など) を記載して下さい。 ・内容：「種別」が所有権の場合は記載不要です。	
	移転または設定に係る権利以外の権利	・所有権：上記の項目の「種別」が「所有権」の場合は記載不要です。 ・所有権以外の権利：「種別」に記載されている権利以外で、引き続き存続するものがあれば記載して下さい。	
移転又は設定に係る土地に関する権利の内容に関する事項	移転又は設定の様態	・ 登記原因の区分(売買、地上権・賃借権の設定、交換など) を記載して下さい。	
	地上権又は賃借権の場合	・【表題部】の項目「前文」で地上権又は賃借権に○を付けた場合は記載して下さい。 ・残存期間：上記項目の記載が地上権、賃借権の場合は「存続期間＝残存期間」、それ以外の場合は「存続期間≧残存期間」を記載して下さい。	
	特記事項	・地上権又は賃借権の登記の有無、地代の変更についての協議の期限の特約、現状回復義務の有無等について記載して下さい。	
対価の額等に関する事項	土地に関する対価の額等	・地目： 現況地目ごと に記載して下さい。 ・【土地に関する事項】の項目「地目」と同じとなります。 ・面積：【土地に関する事項】の項目「面積」と同じとなります。 ・届出の様式は、 小数第2位までの記載 となっているため、ずれないように注意して下さい。 ・単価：地目ごとに単価が「 対価の額 」÷「 面積 」に等しいことを確認して下さい。 ・対価の額：契約書の金額と等しいか確認して下さい。 ・実測清算：実測による面積の増減によって対価が清算される契約であるか否かによって 有・無のどちらかに○ を付けて下さい。 ・計：契約書と等しいか確認して下さい。 ・平均：平均の数字が「 対価の額の合計 」÷「 面積の合計 」に等しいか確認して下さい。	
	工作物等に関する対価の額等	・種類：【土地に存する工作物等に関する事項】の項目「 種類 」の欄に 対応 させて記載して下さい。 ・対価の額：契約書と等しいか確認して下さい。 ・計：契約書と等しいか確認して下さい。	
土地の利用目的等に関する事項	利用目的	・用途等： 住宅団地(予定戸数)、ゴルフ場、担保目的、山林の育成等 を記載して下さい。必要に応じて「土地選定の理由」についても記載して下さい。 ・利用目的に係る土地の所在：届け出る土地の所在を記載して下さい。 ・利用目的に係る土地の面積：届け出る土地の面積を記載して下さい。 小数第2位までの記載 となっているため、ずれないように注意して下さい。 ・利用の現況の変更：山林から農地や団地にする等、 現況の変更の有無についてどちらかに○ を付けて下さい。	
	利用計画の概要	・人工面率：利用目的に係る土地の面積に占める樹林他、草地、水辺地、岩石地及び砂地(農地、採草放牧地及び芝生、庭園木当の植栽された土地を除く)以外の土地の面積の割合の現況と計画を○%→○%と記載して下さい。 ・計画人口：用途等が住宅団地等の場合は想定人口、工場団地等の場合は計画従業員数、レクリエーション施設等の場合は計画(又は見込み)入込者数を記載し、後半に入込者数、従業員数の別をカッコ書きで記載して下さい。 ・その他：利用目的についてすでに条例等による審査を受けている場合、自ら公共・公益的施設を整備する予定である場合等には、その旨及び概要を記載して下さい。	